

大阪府立豊中高等学校 学校運営協議会 議事録

校名	府立豊中高等学校
校長名	湯峯 郁子

開催日時	令和 7年 6月 25日(水) 15:30～17:00
開催場所	大阪府立豊中高等学校 校長室
出席者(委員)	木原俊行委員、 後藤崇志委員 川村健市委員、 直海知子委員、 曾根岳史委員
出席者(学校)	湯峯郁子校長、 前田耕平教頭、 橋本知幸事務長 志方洋介首席、 岡田大樹教諭
傍聴者	無し
協議資料	令和6年度 学校経営計画及び学校評価 令和7年度 学校経営計画及び学校評価 進路資料 新分掌資料 入学時アンケート資料
備考	

議題等(次第順)

- 1 校長挨拶
- 2 委員紹介及び事務局・出席者紹介
- 3 会長選任
- 4 会長挨拶
- 5 報告及び協議
 - (1) 令和6年度学校評価及び令和7年度学校経営計画について(報告)
 - (2) 77期生進路結果について(報告)
 - (3) 今年度取組みの進捗状況について(報告)
 - (4) その他
- 6 提言
- 7 事務連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

＜令和6年度学校評価及び令和7年度学校経営計画について協議＞
 (委員)令和7年度の「めざす学校像」の校訓と二つの項目の中で特に重点を置いて大事にしている、伸ばしていこうという点があれば。
 (回答)本校が掲げている「グラデュエーション・ポリシー」が育成をめざす方針である、またGLHSで育成されるべき力として①幅広い教養と高い専門性、②高い志(社会貢献)と豊かな人間性、③英語運用能力、の3点があげられており、このあたりも意識している。
 (委員)個別最適な学びなども言われるが、文系・理系なども分かれる中、特定の教科科目が苦手な生徒が活躍できる場はあるか。もう一歩頑張りたいという生徒へのサポートはあるか。
 (回答)本校は2年生から文系理系が分かれるが、文系的・理系的な取組みにどちらの生徒も参加するなど、文理横断的にやっている。共通テストの6教科8科目を受験する生徒は9割近く、質問の機会を設けるなど、すべてに取り組めるよう、日ごろから工夫をしている。
 (委員)数値目標について、数値を上げようとする実績を求めるが、実績にどう至るかが大切かと思う。GLHSの目標についても、プロセスを評価する項目もあり、プロセスについてもより充実できるようになっていると感じた。
 ＜77期生進路結果について＞
 (委員)合格者の数値は載っているが、生徒本人としては、希望した大学に行けたのかについてどう見るか。
 (回答)学校教育自己診断の結果では、進路について理解し納得している生徒が多い。自身が納得して決めなければならない、という指導は、学校全体で意識して行っている。
 (委員)浪人生の数が減っている印象である。現役進学を臨む生徒が多いか。
 (回答)進学先に私学を選択する生徒は増えている。全体的な傾向のように見ている。
 ＜今年度取組みの進捗状況について＞
 (委員)働き方改革の視点から見て、分掌を新しく作ることで業務は効率化されていくことになるか。
 (回答)今年度の行事やイベントの周知・募集等について、業務を整理することで、来年度に向けてスリム化をめざしている。
 ＜その他＞
 80期生新入生アンケートや選抜における学校特色枠の設定について意見が交わされた。
 ＜提言＞
 (委員)生徒は高校生として学び、友達を作ることを望んでおり、学校はそれに合う学びを提供できる状態にあり、その活性化のために校長が組織改編に取り組んでいるのを肯定的・前向きに評価したい。

次回の会議日程

日時	令和7年 11月5日(水) 午後
会場	大阪府立豊中高等学校 校長室